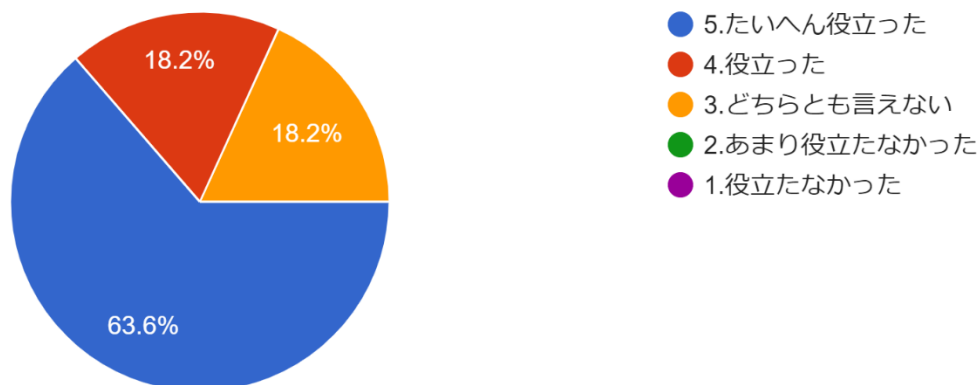


▼第2日(12/17)の講座は役に立ちましたか？



▼第2日(12/17)の評価理由

- ◆d-commons.net マイサイト実習の体験は、デジタルキュレーションのあり方を考える大きな入り口になったと感じています。それまでは「下諏訪町」のサイトは知っていましたが、大きく理解が深まりました。さらに活用の仕方を学びたく思っています。
- ◆実際に作業に関わった方の話を伺ったり、デモ作業をさせていただいて参考になりました。
- ◆地域資料をアーカイブする作業の具体的な手順や大変だったこと、資料の価値、特にそれらを現代的視点からどう捉えるかについて、興味深く聞かせていただきました。私自身はSNSをほぼやらないため「みんなで作る信州上田デジタルマップ」への投稿などを実際に経験できたことも勉強になり、楽しかったです。
- ◆専門的な産業史料を通して近現代史の課題を見つけられる桂木氏、小平氏の姿勢に、学ぶところがあった。
- ◆別に聴力にも機械にも問題はないのに、音量を最大にしても聞き取りにくい。指示が不明瞭。
- ◆第一次資料を使ったキュレーション型学習を推進する主旨、「知識消費型社会から知識循環型社会へのパラダイムシフト」が響きました。学校教育もまさにその転換期にあると思います。
- ◆アーカイブすることだけでなくキュレーションの面白さを学びました。デジタルアーカイブが利活用されるために必要な講座だと感じました
- ◆藤本蚕業の資料に出張報告を散見し、昭和初期の鉄道を調べるきっかけとなりました。今は新幹線が走っていますが、関東へ直通する在来線はありません。当時、上田から関東圏へどのような旅をしたのか、興味を持ちました。

- ◆藤本蚕業アーカイブを中心に、実際のアーカイブを見せていただきながら、前川先生のアドバイスを聞きながら、キュレーションの仕方について学びを深めることができました。
- ◆オンデマンドで受講したため、私には適切に評価できない。敢えて言うならば、内容ではなく音声をもう少し聞き取りやすくしてほしい。